

# 借上げ交流スペースは

青雲21  
藤原 秀策



町長 ▲町の魅力の発信に努めたい



▲オープンが待たれる土山駅南町有地

**問** 駅南町有地は活用事業者として大和リース㈱に決定したが町が借り上げる交流スペースの具体的な活用は。

**答** 周辺住民や駅を利用される方に、町の公共施設や医療機関、文化財などを案内。広報紙やパンフレット、掲示板などで、よりさまざまな情報提供を行う。さらに、駅利用者などの待合や休憩、イベントの場として活用を考えている。また事業者は赤ちゃん駅も設置する。これらにより周辺住

**問** 駅南町有地は活用事業者として大和リース㈱に決定したが町が借り上げる交流スペースの具体的な活用は。

**答** 周辺住民や駅を利用される方に、町の公共施設や医療機関、文化財などを案内。広報紙やパンフレット、掲示板などで、よりさまざまな情報提供を行う。さらに、駅利用者などの待合や休憩、イベントの場として活用を考えている。また事業者は赤ちゃん駅も設置する。これらにより周辺住

**問** 土山駅北側の基盤整備は

**町長** ▲地域の合意形成が進めば

**問** 安全・安心のまちづくりには、十分に認識し理解するところかと思うが現況は。

**答** 平成24年5月に地権者対象に説明会を開催し、行政の立場でのまちづくりの方向性を示した。地域の課題を整理し、地区にふさわしいまちづくりのあり方などについて検討した整備計画を提案しているが、地区の合意形成の進展はない状況である。それが進めば、官民協働のまちづくりを進めたいと考えている。

# 子供医療費無料化の早期実現を

日本共産党  
田中 久子



町長 ▲平成27年7月から実施



▲子供の医療費無料化で安心

**問** 「中学3年生まで医療費無料化にします」と選挙公約された理由は。

**答** 安心して子育てできる環境整備に向けて、経済的な支援策を考えた。経費はいくらか。

**答** 1800万円程度と試算している。

**問** 消費税増税と物価高で暮らしは大変です。早期実現を望むが。

**答** 平成27年7月に実施したい。

**問** 学校図書館の貸出状況は。

**答** 小学生は一人当たり年間65冊、中学生は2冊。

**問** 司書資格の職員は何か。

**答** 小学校に10人。中学校に4人です。

**問** 司書の配置の考えは。

**答** 町立図書館との連携や蔵書の充実を図り、現在配置は考えていない。

**水田川水害対策は**

**山口 直角の場所の設計の実施**

**問** 水田川上流の直角場所の改修計画と排水ポンプの効果は。

**答** 県は直角の場所を含む第3工区の測量・調査・詳細設計を実施。ポンプの運転で数センチ水位低下を確認した。

**問** 水害被災者との懇談会の計画は。

**答** 予定していない。

**問** 水害時の土のうは重い。軽い土のうに変えられないか。

**答** 価格などを調査の上、検討したい。

# クラブ活動の充実を

青雲21  
岡田 千賀子



教育長 ▲前向きに検討していきたい



▲南中吹奏楽部の練習風景

**問** クラブ活動における外部指導者の活用状況と今後の取り組みは。

**答** 現在、ソフトテニス部で部活協力者が参加している。今後は、学校のニーズに応じてスポーツクラブ21はりまなどと連携していきたいが、学校長や部活顧問のよき理解者であり協力者でない、本来の部活運営が成り立たない。学校現場の意見や必要性を最優先に考えたい。

**問** 播中・南中のクラブ活動の種類に学校間で差

**問** 生徒が将来を見据えて、頑張りたいものに取り組めない環境に問題があるのではないか。

**答** 部活動を理由とした校区外就学は、すでに稲美町や加古川市、高砂市で実施されており、今後どっしり形をとるか前向きに検討していきたい。

**その他の質問**

▼バリアフリーのまちづくりは

▼学校給食を完全米飯に

# ごみステーションの指導は

新政会  
奥田 俊則



大西理事 ▲管理は各自治会



▲利用マナーの悪いごみステーション

**問** ごみの分別収集の徹底について、適正に管理されていないごみステーションがある。どう指導の徹底は。

**答** 分別マナーの啓発などは、各自治会の衛生委員に正しい分別方法について指導などの協力をお願いしている。

**問** 自治会に加入していない所の状況は。

**答** 分別マナーの悪いごみは残す理由を明記したステッカーをはり、一定期間回収を見送り、排出者に自覚を促している。

**問** 清潔の保持で、町有地管理の対応は。

**答** 普通財産として管理している所は、定期的に草刈り、清掃をしている。

**問** 私有地の管理者への指導は。

**答** 私有地の管理に関する苦情が発生した時は、現地確認後、必要に応じて対応している。

**水防上危険箇所は**

**角田 状況把握している**

**問** 水防計画では、警戒を要する河川は水田川と喜瀬川、ため池は12カ所ある。現在、危険箇所の把握は。

**答** 河川やため池の警戒を要する箇所とあわせ、要点検・巡回箇所を20カ所把握しており、出水が予測される場合に点検や巡回を実施している。

**問** 住宅開発による田畑の保水能力の低下によって内水氾濫の危険箇所の把握は。

**答** 過去の災害データなどにより、把握に努めている。